



昨年実施された「マイタウンづくり推進事業」での道づくり（沼隈町）

問 沼隈町では、これまで地域連携活動や福祉活動などソフト面

答 ①保険税の低所得世帯に対する一律の減免や医療費一部負担金の減免は、制度の健全運営の観点から困難である。
②保険税の減免申請書は、減免要件に該当しないものには交付しない。
③資格証明書について、被保険者間の公平確保のため、今後とも厳正に対応していく。

沼隈町のまちづくり（緑風会）

での地域づくりを推進する「マイタウンづくり推進事業」に取り組み始めてきた。合併後も継続事業として取り組む考えは。

答 「マイタウンづくり推進事業」は、これまで指定を受けた地区が24地区、未申請地区が24地区ある。合併前に沼隈町へ申請されたものは、合併後も継続事業として実施していく。また、沼隈町の優れたまちづくり事業は、合併後も「地域づくり（道づくり）推進事業」として引き継いでいく。

◆関連質問
・合併後のまちづくりの基本理念
(市民連合)

市職員の給与実態（緑風会）

問 鳥取県では3年前から、職員の給与実態や労使交渉の内容をオープンにし、職員に支給されるすべての手当の趣旨と支給実績を公表されているが、本市の特殊勤務手当の状況は。また、市民から指摘を受けている組合のヤミ専従問題についてはどうか。

答 特殊勤務手当は、支給対象業務の内容、支給基準などについて、15年4月1日から全面見直し

を行い、32種類から22種類に改めてところである。

また、組合専従職員は7人であり、給与は支給していない。組合の専従職員以外の職員は、職員の福利厚生、給与制度、労働安全衛生などの課題の改善に向けた業務に従事しており、本市が目指す「労使協働」という労使関係の中で、それぞれの委員として業務に取り組んでいる。

◆関連質問
・市職員互助会制度の今日的な状況
(水曜会)
・職員互助会に対する公費負担率について
(公明党)

福山市民病院（水曜会）

問 ①外来患者の待ち時間は、オーダリングシステムの効果も合わせてどの程度解消されたか。
②病院運営における個人情報保護対策は。

答 ①16年3月の第1次オーダリングシステムスタート後、投薬の待ち時間は大幅に改善された。今後、オーダリングシステムの全面稼働と電子カルテの稼働を予定しており、待ち時間短縮に効果が

3月議会の動き

2月

23日・議会運営委員会

3月

2日・議会運営委員会

・本会議(会期の決定、市長総体説明)

8日・本会議(代表質疑)

9日・本会議(代表質疑)

10日・議会運営委員会

・本会議(代表質疑、一般質問)

・予算特別委員会設置

付託(予算を除く議案は各常任委員会へ付託)

・予算特別委員会(正副委員長互選)

11日・常任委員会(条例案等の審査)

14～18日

・予算特別委員会(予算案審査)

24日・議会運営委員会

・本会議(委員長報告など)

※オーダリングシステム：診察や検査、薬剤などデータが発生する際に、医療従事者がパソコンを使い直接データを入力するシステムで、従来の紙媒体の伝票に比べて事務処理が迅速かつ正確にできる。